

遠隔教育特講

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

久世 均(岐阜女子大学)

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

【目 的】

教えない授業が実現するためには、自律的な学習者となることが重要であり、自律的な学習者であれば自律的なオンライン授業が実現する。ここでは、自律的なオンライン授業の分析と設計について考える。

【学習到達目標】

- e-Learningという学習について説明できる。
- 授業の効果分析について具体例を挙げて説明できる。

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

1. e-Learningという学習

e-Learningは、ただ単にe-Learningでの“研修で学ぶ”のみではなくて、

- 情報で学ぶ
- 経験して学ぶ
- 仲間から学ぶ

を取り入れたより幅の広いものだと捉えている。

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

1. e-Learningという学習

教えない研修への提案

- 子ども扱いせず大人学びを支援するためのアンドロロギーを採用する。
- 研修ではなく自己啓発とOJTを能力開発の基礎と位置付ける。
- 集合研修でもバラバラな課題に取り組む時間を設ける。
- 熟達化に応じて、「教えない」割合を増やす。
- 成長する学びに誘うきっかけとなる研修を考える。

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

2. 自律的なオンライン授業

- 授業の目的は「教えること」ではない。それは学習者が「自ら学ぶ」ことを手助けし、学習者に「行動変容」が起こることである。
- 「教えない」授業が主体的な学び手を前提として、よりフレキシブルな学習環境を提供すると共に、成人学習学の原則を踏まえる必要がある。

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

3. 授業の効果分析

授業の効果が上がらない要因

- 授業の目的やねらいを明確にしていない
- 効果測定として何を測るのか決めていない
- 誰がいつ測定するか決めていない

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

3. 授業の効果分析

授業の効果測定のポイント

- 授業の目的, 学習者の行動変容を評価する
- 評価することが目的ではなく, 評価するに値する結果を出すことが目的
- 学校の視点と教員の視点から授業を見直していく機会と捉える
- 教育を通じて職場を成長させるツールと考える
- 学習者を望ましい方向にマネジメントするために効果測定をする

課題

1. 自律的なオンライン授業について、具体的に企画ができる。
2. 授業の効果測定について具体例を挙げて説明しなさい。

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

【目的】

教えない授業が実現するためには、自律的な学習者となることが重要であり、自律的な学習者であれば自律的なオンライン授業が実現する。ここでは、自律的なオンライン授業の分析と設計について考える。

【学習到達目標】

- e-Learningという学習について説明できる。
- 授業の効果分析について具体例を挙げて説明できる。

遠隔教育特講

第10講 自律的なオンライン授業の分析と設計

久世 均(岐阜女子大学)